



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月7日

上場会社名 イサム塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4624 URL <http://www.isamu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 倍章

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 糸洲 治夫

TEL 06-6453-4511

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日

2022年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,715	1.6	248	15.9	298	14.9	200	17.3
2022年3月期第2四半期	3,656	3.9	294	12.3	350	5.4	241	6.6

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 206百万円 (14.2%) 2022年3月期第2四半期 241百万円 (26.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	104.71	
2022年3月期第2四半期	126.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	19,535	16,268	81.3	8,328.21
2022年3月期	19,143	16,111	82.1	8,248.92

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 15,875百万円 2022年3月期 15,724百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		25.00		25.00	50.00
2023年3月期		25.00			
2023年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,700	8.9	500	2.7	600	1.8	410	2.1	215.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	2,000,000 株	2022年3月期	2,000,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	93,835 株	2022年3月期	93,795 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	1,906,185 株	2022年3月期2Q	1,906,333 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記業績予想に関する事項につきましては添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナへの新たな段階への移行が進められる中、企業収益は一部に弱さがみられるものの総じて改善の動きがみられます。個人消費、設備投資、雇用情勢に持ち直しの動きがみられ、景気全体が持ち直していくことが期待されています。

一方で世界の景気は、一部の地域において足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられます。わが国は、景気が持ち直しつつありますが、ウクライナ情勢の不透明感が続いており、エネルギー価格、原材料価格の上昇や供給面での制約、企業物価指数や消費者物価指数の上昇など、当社グループを取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは一定の需要に対し安定して製品供給すべく事業活動を継続し、自動車補修用市場でのシェアの拡大を図るため、顧客ニーズに沿った環境対応型塗料や高機能性塗料で販路拡大に注力するとともに、大型車両分野や工業用分野などの新規市場開拓や建築用塗料の受注拡大に向け、営業活動を展開いたしました。また、原材料価格や物流コスト上昇分を吸収すべく、あらゆるコスト削減に注力しながら一部を販売価格に転嫁し、収益向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、37億15百万円（前年同四半期比1.6%増加）となりました。また、利益面におきましては、営業利益は2億48百万円（前年同四半期比15.9%減少）、経常利益は2億98百万円（前年同四半期比14.9%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億円（前年同四半期比17.3%減少）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①塗料事業

売上高は36億66百万円（前年同四半期比1.7%増加）、営業利益は2億26百万円（前年同四半期比18.6%減少）であります。

②その他

売上高は50百万円（前年同四半期比0.9%減少）、営業利益は22百万円（前年同四半期比28.9%増加）であります。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して、資産は3億92百万円増加、負債は2億36百万円の増加、純資産は1億56百万円増加しました。

資産の増加の主なものは、投資有価証券3億98百万円、受取手形、売掛金及び契約資産1億71百万円、減少の主なものは有価証券3億1百万円であります。

負債の増加の主な要因は、電子記録債務1億12百万円、支払手形及び買掛金93百万円、減少の主なものは未払金46百万円であります。

また、純資産の増加の主な要因は、利益剰余金1億52百万円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、33億72百万円（前年同四半期末35億64百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、2億98百万円（前年同四半期1億98百万円）となりました。

その主な要因は、増加した資金では税金等調整前四半期純利益2億95百万円、仕入債務の増加2億4百万円、減少した資金では売上債権の増加1億71百万円、法人税等の支払額80百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、2億5百万円（前年同四半期2億37百万円の増加）となりました。

その主な要因は、増加した資金では有価証券の償還による収入6億円、投資有価証券の売却及び償還による収入3億円、減少した資金では投資有価証券の取得による支出10億円、有形固定資産の取得による支出1億21百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、54百万円（前年同四半期55百万円）となりました。

その主な要因は、配当金の支払額48百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月10日の決算発表日に公表しました前回予想に変更はありません。

なお、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,342,612	5,381,870
受取手形、売掛金及び契約資産	1,986,550	2,157,890
有価証券	1,701,280	1,400,000
商品及び製品	948,629	938,274
仕掛品	130,650	149,646
原材料及び貯蔵品	218,741	251,820
その他	61,826	105,924
貸倒引当金	△13,756	△6,927
流動資産合計	10,376,532	10,378,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,952,143	2,995,368
減価償却累計額	△1,875,407	△1,910,338
建物及び構築物(純額)	1,076,736	1,085,030
機械及び装置	693,756	711,056
減価償却累計額	△535,551	△554,241
機械及び装置(純額)	158,205	156,815
工具、器具及び備品	542,207	553,488
減価償却累計額	△414,752	△435,338
工具、器具及び備品(純額)	127,455	118,150
土地	1,344,467	1,344,467
リース資産	79,554	90,660
減価償却累計額	△65,455	△68,758
リース資産(純額)	14,099	21,902
有形固定資産合計	2,720,962	2,726,364
無形固定資産		
ソフトウェア	23,057	21,472
リース資産	—	2,880
ソフトウェア仮勘定	3,285	—
施設利用権	342	285
電話加入権	6,555	6,555
無形固定資産合計	33,239	31,192
投資その他の資産		
投資有価証券	4,098,373	4,496,157
長期預金	1,200,000	1,200,000
保険積立金	458,160	443,027
繰延税金資産	227,882	234,824
その他	30,238	36,293
貸倒引当金	△2,251	△11,415
投資その他の資産合計	6,012,402	6,398,886
固定資産合計	8,766,603	9,156,442
資産合計	19,143,135	19,534,939

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	361,768	454,538
電子記録債務	1,152,046	1,264,099
リース債務	4,246	6,456
未払金	192,567	146,261
未払法人税等	88,523	106,027
未払消費税等	12,674	44,501
前受金	4,262	4,946
預り金	61,286	60,174
賞与引当金	107,698	111,082
その他	41,301	42,775
流動負債合計	2,026,371	2,240,859
固定負債		
長期預り保証金	268,697	269,290
リース債務	11,289	20,861
繰延税金負債	37,526	34,261
役員退職慰労引当金	95,622	103,109
修繕引当金	105,000	108,750
退職給付に係る負債	487,235	490,149
固定負債合計	1,005,369	1,026,420
負債合計	3,031,740	3,267,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,400	1,290,400
資本剰余金	1,210,130	1,210,130
利益剰余金	13,159,651	13,311,585
自己株式	△178,602	△178,724
株主資本合計	15,481,579	15,633,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	242,549	241,556
その他の包括利益累計額合計	242,549	241,556
非支配株主持分	387,267	392,713
純資産合計	16,111,395	16,267,660
負債純資産合計	19,143,135	19,534,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,655,773	3,715,484
売上原価	2,527,424	2,599,323
売上総利益	1,128,349	1,116,161
販売費及び一般管理費	834,040	868,607
営業利益	294,309	247,554
営業外収益		
受取利息	100	47
有価証券利息	6,094	10,214
受取配当金	10,340	10,967
受取賃貸料	26,219	26,025
貸倒引当金戻入額	1,514	—
その他	16,086	6,135
営業外収益合計	60,353	53,388
営業外費用		
支払利息	74	72
支払補償費	3,993	2,359
その他	564	740
営業外費用合計	4,631	3,171
経常利益	350,031	297,771
特別損失		
棚卸資産廃棄損	—	3,044
特別損失合計	—	3,044
税金等調整前四半期純利益	350,031	294,727
法人税、住民税及び事業税	95,741	96,471
法人税等調整額	6,813	△9,226
法人税等合計	102,554	87,245
四半期純利益	247,477	207,482
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,222	7,893
親会社株主に帰属する四半期純利益	241,255	199,589

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	247,477	207,482
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,814	△994
その他の包括利益合計	△6,814	△994
四半期包括利益	240,663	206,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,444	198,595
非支配株主に係る四半期包括利益	6,219	7,893

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	350,031	294,727
減価償却費	80,745	89,558
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5,153	3,384
修繕引当金の増減額 (△は減少)	3,750	3,750
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,514	2,335
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,552	7,487
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△14,172	2,914
受取利息及び受取配当金	△16,534	△21,227
支払利息	74	72
棚卸資産廃棄損	—	3,044
売上債権の増減額 (△は増加)	△158,122	△171,340
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△39,671	△44,764
仕入債務の増減額 (△は減少)	171,812	204,299
未払金の増減額 (△は減少)	△15,394	△3,951
未払消費税等の増減額 (△は減少)	15,822	31,827
その他	△76,055	△50,732
小計	303,171	351,383
利息及び配当金の受取額	22,360	27,527
利息の支払額	△74	△72
法人税等の支払額	△127,830	△80,357
営業活動によるキャッシュ・フロー	197,627	298,481
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300,000	—
有価証券の償還による収入	300,000	600,000
有形固定資産の取得による支出	△205,004	△120,566
無形固定資産の取得による支出	△1,150	—
投資有価証券の取得による支出	△400,298	△999,533
投資有価証券の売却及び償還による収入	200,000	300,000
保険積立金の積立による支出	△16,309	△15,152
保険積立金の払戻による収入	60,000	30,000
その他	130	89
投資活動によるキャッシュ・フロー	237,369	△205,162
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△135	△122
リース債務の返済による支出	△4,374	△3,907
配当金の支払額	△47,645	△47,585
非支配株主への配当金の支払額	△2,447	△2,447
財務活動によるキャッシュ・フロー	△54,601	△54,061
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	380,395	39,258
現金及び現金同等物の期首残高	3,183,271	3,332,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,563,666	3,371,870

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,605,500	50,273	3,655,773	—	3,655,773
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,605,500	50,273	3,655,773	—	3,655,773
セグメント利益	277,398	16,911	294,309	—	294,309

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	塗料事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,665,678	49,806	3,715,484	—	3,715,484
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,665,678	49,806	3,715,484	—	3,715,484
セグメント利益	225,752	21,802	247,554	—	247,554

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。